

奥谷金網製作所、日中で販売

米社製再生。プラ造粒機向け フィルター

【神戸】奥谷金網製作所（神戸市中央区、奥谷勝彦社長、078・351・2531）は、再生プラスチック用造粒機に使われる、米社製フィルター（写真）の製品で、今後の

アジア市場開拓に向け、同フィルターは板厚1・6ミ×直径365ミリ。世界トップクラスの販売実績があるオーストリアメーカーの再生プラスチック造粒機向けの消耗品として

売り込む。OCRは独自の電子ビームドリル加工技術を使い、孔径0・1ミ〜1ミの範囲で多孔スクリーンの同フィルターを生産する。フィルターは造粒

を決めた。奥谷金網は金網・パンチングメタル（打抜金網）メーカーとしてフィルター製品を熟知するが、自社にない小孔径の技術やコスト競争力があると判断し、OCR製品の取り扱い



機1台当たり2枚セットで使用され、1枚の価格は20万円前後（消費税抜き）。年間平均で5回ほど交換される。